
決意

てんびっと

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

決意

【コード】

N4887U

【作者名】

てんびつと

【あらすじ】

女子高生の決意です。

暑さで目が覚めちゃった。頭を乗せていた右腕が、ジンジンして
る。頬骨も、ジンジンしてる。とにかく、暑い。髪の毛の長さに、イラ
イラ。でも、トモユキ、長い髪綺麗だねって、褒めてくれたんだよ
な。嬉しかったな。机に突っ伏して、ニヤけてるって、私、馬鹿み
たいじゃん。そりゃ、イライラも、治まるって。

首筋を伝って、背中に落ちていく汗が、気持ち悪い。ブラの紐が、
湿って、背中に食い込んで、気持ち悪い。なんで、ベストなんか、
着ているんだろうな。暑いのに、ベストなんて、着る必要のないのに
なんだろう、白いブラウスから、下着が透けるの、恥ずかしいから
だったっけ。見られたって、減るもんじゃない。分かっては、いる
んだけどね。なんとなく、着ちゃうの。

それにしても、暑い。クーラーを見る目が、霞んでる。恨んで、
見たって、動かないよね。節電が、大事なのくらい、分かってるよ。
もう、高校生なんだし、ね。でも、あると、つい、ね。仕方なくな
い？ 誰が悪いんでも、ないと思うよ、実際。だって、今まで一
杯、頼ってきたじゃん。裏切られることだって、あるよ。因果応報
ってやつ？ 難しいこと、分かんないけどね。お、田中のやつ、チ
ヨークをしまいだした。やっと、授業が終わる。トモユキ、バイト
だって、言ってたな。せっかくの、金曜なのにな。どうしよう。美
容院にでも、行こうかな。髪、短くしようかな。トモユキ。

ダメダメ。ガマン、ガマン。ま、そんな事で嫌われちゃうなんて
ことはないけど、もっともっと好きになってもらいたいし。うん。
頭がポーツとするね。もう暑いんだし、起立、礼なんて、やめよ
うよ。足も、だるいしさ。寝てたからだけど。

はあ、カバン、重いな。教科書、置いてっちゃおうかな。宿題、
出来ないと困るかな。仕方ない、持って帰るか。

ん？ 予定？ 別にないけど。カラオケ？ パス。今日はそんな

気分じゃないから。付き合ひ、悪くなつてないつての。トモユキ？
違つて。そんなのじゃないつて。そりゃ、好きだけどさ。その
名前、出してくるのは、反則でしょ。友達だからつて、許さないん
だから。今日は、一人で、帰るよ。

暑いのは暑いけど、風が、気持ちいいね、河川敷は。トモユキ、
ちよつとくらい、待つてくれたつて、良いのに。すぐバイト、行
つちゃうんだもん、イヤになつちゃう。ちよつとくらい、顔、見せ
てくれたつて、良いじゃん。だいたいさ、夢の為とか、分かるけど
さ、がんばり過ぎなんだよ、アイツ。体、壊しちゃえばいいのに。
ゴメン、神様、ウソです。

暑いのに、みんな、頑張つてるよね。野球したり、サッカーした
り、自転車乗つたり、走つたり。部活、入れば良かったかな。今か
らでも、遅くないかな。でも、今から入つたとしたら、一年が困る
よね。年上の後輩なんて、迷惑極まりない。こつちだつて、気、使
うつての。トモユキ。私、暇だよ。

バイト、始めようかな。二人でバイトしたら、ギターなんて、す
ぐ買えちゃうよね。ギブソンだかなんだか、知らないけど、高校生
が持つもんじゃないよ。世の中、身分相応つてもんが、あるんだよ。
そんな高いギター、使わなくても、十分だよ。私、感動したんだか
ら。トモユキの、演奏。私の為だけの、演奏。演奏つて、言うのか
な。どうなんだろ。

一ヶ月なんて、あつと言つ間だね。トモユキ、弾くだけ弾いて、
無言なんだもん。しかも、わざわざ呼び出しといて。そりゃないよ
つて思つたよ。でも、弦に指をかけた瞬間、私、好きになつてた。
トモユキのこと、何も知らないけど、好きになつてた。自分でも驚
いたけど、好きになつてたんだもん、仕方ないよ。トモユキ、頑張
つてるかな。失礼かな、私。頑張つてるに、決まつてるもんね。ポ
カリでも持つて、会いに行つちやおうかな。

広い河川敷に一人つて、寂しい。でも、家に、帰りたくないの。

昨日のパパと、ママ。凄い剣幕だった。朝、家中の空気が、汚れた。理由、分からないけど、今までで一番酷い、喧嘩だった。二人とも、真剣だった。私、出る幕なかった。それが、寂しかった。

いつか、トモユキと、あんな喧嘩になること、あるのかな。あったら、私、泣いちゃうだろうな。ボロボロに、どうしようもないくらいに、泣いちゃうだろうな。トモユキ、抱き締めてくれるかな。喧嘩、良いかも。でも、怒って、ほったらかしかも。それは、イヤだな。喧嘩、どっちにしても、ないと良いな。わざわざ喧嘩、する必要なんて、ないもんね。大好きだもん、トモユキのこと。

よし、髪を切ろう。もし、トモユキが怒ったら、その時は、私の体を、もらってもらおう。初めての人に、なってもらおう。もっと、怒るかもしれないけど、軽い女だって、思われちゃうかもしれないけど、でも、もう、キスだけなんて、イヤなんだもん。もう、我慢したくない。体が熱いのは、我慢出来ないんだもん。怒らなかつたら、どうしよう。その時は、笑って、セックスすれば良いだけ、だよね。

それにしても、暑いね。ベスト、脱いで、カバンにしまおうと。もう、この夏は、ベストなんて、着ない！

(後書き)

凄く短いモノを書きたかったので、
気の向くままに書いてみました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4887u/>

決意

2011年7月1日03時12分発行